

切手大量購入で百条委

現前2議員
政活費問題
市川市議会が決議

政務活動費をめぐる問題

で、市川市議会は17日、小泉文人議員（創生市川）と鈴木啓一前議員が大量購入した切手の用途などを調べるため、地方自治法に基づき調査特別委員会（百条委員会）を設置する決議を全会一致で可決した。今議会中に百条委の初会合を開催する見通し。

決議によると、小泉議員と鈴木前議員は2011年度に会派「社民・市民ネット」、12、13年度に会派「ボランティア・新生会・市民の風」に在籍。2人が実施したとされるアンケートに

関連し、大量購入した切手が本当に使用されたか、アンケートが本当に実施されたかどうかを調べる。

11年度については、2人のみで切手を大量購入したにもかかわらず、会派名義で領収書処理。しかし、

同会派のほかの3議員は「アンケートの回答用葉書を1枚も見ることがなく、アンケート結果に関する説明も一切受けていない」と主張。3議員が今月、小泉議員に切手購入分全額の返納を促したが、返納の意思を確認できず、決議は「返納要請を無視するなど極め

て悪質」と指摘した。

百条委設置の決議を受け、小泉議員は取材に対し「真摯（しんし）に受け止める。アンケートに関する疑義については百条委で説明する」と述べた。

政務活動費をめぐる問題は、昨年12月の臨時議会で、対立する市議グループが双方に対する百条委設置を求め、

百条委が同時に設置される異例の事態となった。大久保博市長が先行して外部個別監査を実施したため、百条委は開催されないまま設置期限切れとなった。